

平成 19 年度第 1 回日本スポーツ少年団常任委員会議事録

日 時 平成 19 年 4 月 10 日 (火) 13 時 30 分 ~ 14 時 10 分

場 所 財団法人日本体育協会 理事・監事室

出席者 長沼本部長、佐藤、住谷の各副本部長
碓井、吉田、山本、平山、佐竹、穰岡、野田 (憲)、野田 (正)、
菅原、村田、平井、大橋、小杉、大山、山崎の各常任委員

< 委 任 > 島中、伏見の各常任委員
委員総数 20 名、うち出席 20 名 (含委任 2 名)

設置規程第 17 条第 3 項により会議成立。

< 事務局 > 古賀次長、小寺部長、鷲山課長、池田課長補佐
他青少年スポーツ部少年団課員

議事に先立ち、長沼本部長より新年度にあたっての挨拶があり、その後、本部長を議長として、議事に入った。

< 報告事項 >

1. 学識経験副本部長の就任について

議長より、去る 3 月開催の委員総会において本部長一任となっていた学識経験副本部長について、2004 年アテネ五輪女子ソフトボール日本代表監督の宇津木妙子氏の就任が決定したことを報告、これを了承。

なお、正式な就任は、翌 11 日に開催する本会理事会の報告後となるため、常任委員会への出席は次回からとなる。

2. 日本スポーツ少年団常任委員会の編成について

議長より、資料に基づき、去る 3 月開催の委員総会で選出された各ブロック選出常任委員 9 名に加え、本部長に一任されていた学識経験常任委員として 8 名を委嘱した旨報告。これを了承。

なお、空席となっている学識経験者枠 1 名については、その人選を検討中である旨説明。

また、改選後初めての会議となることから、常任委員の自己紹介を行った。

3. 平成 19 年度日本体育協会事務局機構および職員の配置について

事務局より、資料に基づき、平成 19 年度日本体育協会事務局機構および職員配置について報告。

4. 平成 18 年度第 4 回常任委員会および第 2 回委員総会の議事録について

議長より、資料に基づき報告。これを了承。

5. 第 29 回全国スポーツ少年団剣道交流大会および第 4 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会の終了について

事務局より、資料に基づき、去る 3 月 27 日～29 日に岡山県岡山市で開催した全国剣道交流大会、3 月 26 日～29 日に長崎県長崎市で開催した全国バレーボール交流大会について、両大会とも開催県スポーツ少年団ならびに競技団体など関係団体の協力のもと成功裡に終了した旨報告。これを了承。

6. 第 47 回全国スポーツ少年大会の開催地について

事務局より、未定となっていた平成 21 年度開催の全国スポーツ少年大会の開催地について、関東ブロック内で協議の結果、群馬県に決定した旨報告。これを了承。

なお、最終決定は、群馬県スポーツ少年団および群馬県体育協会等関係機関の最終承認を得た時点となることを確認。

7. 第 34 回日独同時交流「日本派遣団」団長団の決定および派遣団員の内定について

事務局より、資料に基づき、長沼本部長に一任されていた日本派遣団の団長団とグループ編成について、藤沼貞夫日本スポーツ少年団委員（埼玉県本部長）を団長とした団長団の決定および派遣団員・指導者 84 名の内定について報告。

北海道グループ（北海道）、東北グループ（青森県）の指導者と長崎県の団員は申込み手続中であり、申込受領後に内定手続きを行うことを併せて報告。

なお、現段階での欠員 38 名の補充については引き続き調整を行い、指導者については 5 月 3 日から 4 日間、団員については 5 月 4 日から 3 日間、東京・国立オリンピック記念青少年総合センターにて事前研修会を開催し、最終選考を行った上で正式決定すること、また派遣団の公式服装については、団長に一任願う旨説明。以上、いずれも了承。

8. 日本スポーツ少年団指導者協議会運営委員会の構成について

事務局より、去る 4 月 6 日に、各ブロックから選出された新運営委員による第 1 回運営委員会が開催され、委員の互選により、委員長に長野県の野田正彦氏、副委員長に兵庫県の山田ひとみ氏と長崎県の古川隆三郎氏が選出されたことを報告。

なお、学識経験委員については、常任委員会の承認事項であるが、6 月開催の運営委員会において選出方法等について協議する予定となっていることから、後日常

任委員会に諮ることを説明。併せてこれを了承。

9. 平成 18 年度日本スポーツ少年団顕彰事業の終了について

事務局より、資料に基づき、日本スポーツ少年団顕彰要綱第 3 条第 3 項により、12 県 20 名の退任指導者に対し、当該県スポーツ少年団を通じ感謝状を贈呈したこと、また、これにより平成 18 年度顕彰事業の全てを終了した旨報告。これを了承。

10. ブロック報告

特に無し。

11. その他

事務局より、以下の 2 点について報告。

2006 年度ミズノスポーツメントール賞について

2006 年度ミズノスポーツメントール賞について、去る 2 月 28 日に受賞者が決定され、スポーツ少年団関係者としては、山口県スポーツ少年団の単位団指導者 岡村克己氏が受賞されたことを報告。

平成 19 年度常任委員会・委員総会の会議日程について

資料の通り、会議開催日程を報告。

以上、これらを了承。

< 議 案 >

1. 日本スポーツ少年団専門部会の編成について

事務局より、日本スポーツ少年団設置規程第 18 条に定める常任委員会の常設諮問機関である「指導育成」「広報普及」「活動開発」の 3 専門部会について、平成 19・20 年度の 2 年間は、資料名簿記載の通り構成する旨を諮るとともに、承認後は、本部長名により委嘱する旨を説明。これを承認。

2. 第 45 回全国スポーツ少年大会の開催について

事務局より、本年 7 月 28 日から 7 月 31 日までの 4 日間、「国立阿蘇青少年交流の家（熊本県阿蘇市）」を主会場に開催する第 45 回全国スポーツ少年大会の開催について、開催要項（案）に基づき説明。

本委員会にて承認を得た後、来たる 4 月 17 日に熊本市で開催の実行委員会において最終的な確認を行い、各都道府県に開催通知を発信したい旨を諮り、これを承認。

なお、最終承認については、実行委員会へ出席する佐藤副本部長に一任願いたい

旨を併せて諮り、これを承認。

碓井委員より、日程（案）について、就寝時間が23時と設定されているが、子どもの疲労具合を考慮した場合、遅すぎるのではないかという意見があった。

これに対し、事務局より、17日開催の実行委員会にて検討する旨回答。

3. 第29回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会の開催について

事務局より、本年8月7日から10日の4日間、北海道札幌市にて開催する全国スポーツ少年団軟式野球交流大会について、実施要項（案）に基づき説明。

本委員会にて開催について承認を得た後、4月下旬に札幌市で開催の実行委員会において最終的な確認を行い、各都道府県に開催通知を発信したい旨を諮り、これを承認。

なお、最終承認については、実行委員会へ出席する副本部長に一任願いたい旨を併せて諮り、これを承認。

4. 2007年日中青少年スポーツ指導者交流事業（受入）の実施について

事務局より、実施要項（案）に基づき、2007年日中青少年スポーツ交流事業（受入）について、団員交流事業は、8月中旬から下旬の7日間、宮崎県にて受入を予定し、指導者交流事業は、10月中旬から下旬の10日間、山口県・高知県を中心に受入を予定している旨を説明。

また、日程については、中華全国体育総会と調整中であるため、最終調整について、長沼本部長に一任願いたい旨を併せて諮り、これを承認。

5. 平成20年度事業計画および要望予算の編成について

事務局より、平成20年度事業計画および要望予算の編成については、従来同様、各専門部会の要望等を取りまとめた後に全体的な調整を行う手順で進めたい旨説明。

については、最終的な事業計画と要望予算の「取りまとめ」を長沼本部長に一任願いたい旨を諮り、これを承認。

6. その他

特に無し。

以上協議し、14時10分に閉会。